

何が秘密かわからない秘密保護法、国民の知る権利奪い取る

上越での秘密保護法反対緊急集会に105人

秘密保護法反対の集会が23日、雁木通りプラザであり、参加してきました。今回の集会は上越9条の会などの呼びかけで開催されたものです。緊急の呼びかけにもかかわらず参加者は105人にもなりました。参加者は開会の30分くらい前から集まりました。時間がもったいないという声もあり、何人かがマイクを使って秘密保護法に関する思いや廃案に向けた決意などを語りました。こういうのは初めてでした。

正式の開会は午後4時。呼びかけ人を代表して馬場秀幸弁護士が挨拶しました。馬場さんは、「問題点は2つだと思っている。1つは秘密を行政機関の長が勝手に指定できることだ。これでは恣意的に秘密の範囲が広がっていく。もうひとつは秘密を漏らしたものだけでなく、教えてくれと働きかけたりした人なども処罰の

対象となることだ。勝手に秘密でないと思っても処罰される可能性がある」「今回の法案は国民が知りたいと思っていることから国民を遠ざけるところに本質がある」「修正協議では根幹にまったく触れていない。骨格からはずれたところでもはじめに議論しているように見せかけているだけだ」「これから集団的自衛権の問題も出てくる。長い闘いになるがみんな力で合わせて頑張りましょう」と訴えました。

基調報告では元作新学院大学教授の片岡豊さんが、戦後史上最悪の危機的な状況がやってきたとして、法案をめぐる情勢や問題点などをわかりやすく解説し、近代立憲主義の否定につながる流れを食い止めるために全力をあげようと呼びかけました。

その後、新婦人の会のみなさんが、秘密保護法反対を訴える掛け合いパフォーマンスを披露し、集会を盛り上げました(写真上)。また、日本共産党を代表して上越地区委員長の上野公悦議員(写真下)が、「この法案は国民の目と耳をふさぎ、押さえつけようとするものだ。振り返ると、行政が真実を国民に隠そうとするとき、その裏には戦争があった。何が何でもこの法案は通すわけにはいかない。全国のみなさんと連帯

「灯の回廊」、牧区にも拡大へ

来年2月に予定されている「灯の回廊」はこれまでの安塚区、大島区、浦川原区のほか牧区でも取り組むことになりました。これが実現すると、全体で11万本のロウソクが灯されることになるのか。関係者の皆さんはギネスブックに登場できるようにしたいと意気込んでいます。



12月議会会で審議される上越市一般会計補正予算にはロウソク代3万本を追加する予算、66万2000円が計上されました。写真は今年2月、ほくほく大島駅前撮影したものです。

希望館での日本共産党演説会

市田書記局長来る

12月8日(日)午後2時から。頸城区の希望館大ホールにて開催。私も挨拶します。ぜひご参加ください。



した、日本共産党を代表して上越地区委員長の上野公悦議員(写真下)が、「この法案は国民の目と耳をふさぎ、押さえつけようとするものだ。振り返ると、行政が真実を国民に隠そうとするとき、その裏には戦争があった。何が何でもこの法案は通すわけにはいかない。全国のみなさんと連帯



【イヌタデ】漢字で「犬蓼」と書きます。「赤まんま」と呼ぶ人が多いですね。タデ科の一年草で、道端や畑などで見られる身近な花です。ひとつの花だけでなく、あたり一面に咲いている状態になると、見事です。

「マサヒロさん、死んじゃったねえー」高見盛が負けたときに見せたような顔をしてそう言ったのは「でみせ」（屋号）のばーちゃん、キヨコさんです。先日、久しぶりに一緒にお茶飲みをしました。

キヨコさんは休むことなく話し続け、マサヒロさんとの最後の出会いのことを教えてくれました。一月ほど前、場所は柿崎病院だったそうです。頭がすっぽり入るほど大きな帽子をかぶった男性がキヨコさんのすぐそばにやってきたのは待合室のことでした。椅子に座っていたキヨコさんは最初、誰だかわからなかったと言います。

マサヒロさんから「おれ、分からんか」と声をかけられたキヨコさんは、黒っぽい大きな顔を見てびっくり、「わからんこて、そんげなかつこしてりゃ」と言い返しました。でも、うれしかったようです、声をかけてもらって……。

二人とも昭和ひと桁生まれ、年が一つ違うだけで子どもの頃からの知り合いでした。マサヒロさんが尾神から直江津市街地の西本町に移転しても、尾神郵便局に長く勤めていたこともあって、二人が出会う機会は何度かあったようです。キヨコさんが最初に口に出したのは、マサヒロさんが身に着けていたものについてでした。

「あまいけの西（屋号）のマサヒロさん、あの通りの真っ黒い顔だろ、それなのに赤い蝶ネクタイつけてさあ。おれは似合わんと思っていたがだでも、本人は気に入っていたげらでしばらくつけていたこてー」

私もマサヒロさんの赤い蝶ネクタイ姿は見たことがあります。ベレー帽をかぶり、蝶ネクタイをしている姿は独特の雰囲気を出していて、恰好良かったですね。マサヒロさんは郵便局を退職後もたびたび故郷にやってきました。その目的のひとつは懐かしい人に会うことでした。意外とさみしがり屋だったのかも知れません。

「山さわぎが好きだったろー、あの人、直江津からバイクに乗って来たこて。それに乗れなくなったら、今度はバスに乗って来たもんだこて。おらちに初めて来たときは『ばいげつや』でバス降りたすけ、こんだ、米山塗装のところ降りろそつたが……。あんどきもマントかなんか着てさ、おもしろえ格好して来たがど」

キヨコさんの話を聴いていると、マサヒロさんが初めてキヨコさんの家に来た時の様子がそのまんま目に浮かびます。

マサヒロさんの山好きは私も良く知っています。雪が解けると、ウドなどの山菜を採るために時どき尾神の山に入っていました。入る山は私とほとんど同じ。山で一緒になったことはありませんが、マサヒロさんの友人である酒屋（屋号）のタケシさんのところでも何度も会いました。山菜採りが上手で、「こりや、誰かに先を越されたな」と思ったケースのうち何度かはマサヒロさんだったのだろう推測しています。

マサヒロさんは地域の人からは、親しみをこめて「あまいけの西のあんちゃ」と呼ばれていました。林英夫先生が私の小学校の担任だった頃からずっとです。七〇、八〇になっても「あんちゃ」と呼ばれていたのは私の知る限り、この人ぐらいです。

子どもがいなかった分、生まれた故郷や地域の人たちに愛情を注いだ人でした。さて、キヨコさんとマサヒロさんの最後の出会いの最後です。キヨコさんが言いました。「あの日、西のあんちゃと病院出る時も一緒になったがど。おれにさー、手、振ってサイナラしてくれたがよ。そんなさー、目に涙うかべてんがねかね。うれしかったこてー」そう言うキヨコさんも目がうるんでいました。



農議連が大島区菖蒲で楽しい収穫祭

市議会食糧農業農村議員連盟が作っている田んぼの収穫祭が27日、大島区菖蒲で行われました。

地元の生産組合代表の横尾さんの話では、今年の稲作は上々で、収

量、品質とも良かったということでした。横尾さん、農議連の武藤会長が挨拶した後、懇親会です。地元のお母さんたちが手作りしてくださった美味しい料理に舌鼓を打ちながら楽しいひと時を過ごしました。トコロ、柿の天ぷらなど珍しいものも出てきましたよ。

懇親会の後半にはこの自慢のそばも出てきました。私は厨房でお母さんたちが作っておられる様子も見学させていただきました。カメラを向けたら、「今度、（市政レポートに）載るんかいね」と言ってくださり、しばらくレポートの話になりました。それにしても、みなさんいい顔をして作っておられましたね。美味しいものは笑顔の中で作られる、そう思いました。

さて、今回の懇親会を盛り上げたのは佐藤副議長でした。佐藤副議長は落語家柳家小さんの弟子として落語をやってきた経験があります。また、踊りの師匠さんでもあ

ります。見事な小唄と踊りで会場は楽しさいっぱいになりました。「入れたものは朝までぬくんじやないぞ」にはみんな何を想像したのか、大爆笑でした。

（写真は小唄を披露する佐藤副議長と大笑いする人たち）

上越地域各消防署における空間放射線量測定結果（測定は毎日午前9時。数値はマイクロシーベルト。1時間当たりの測定量です。消防署によると、通常の範囲は1時間当たり0.016~0.16μSv（マイクロシーベルト）だということです。

	11月20日(水)	11月27日(水)
上越南消防署	0.040	0.036
上越北消防署	0.057	0.050
新井消防署	0.053	0.043
頸北消防署	0.043	0.046
頸南消防署	0.043	0.050
東頸消防署	0.043	0.047
高土分遣所	0.050	0.047
名立分遣所	0.047	0.047

「マサヒロさん、死んじゃったねえー」高見盛が負けたときに見せたような顔をしてそう言ったのは「でみせ」（屋号）のばーちゃん、キヨコさんです。先日、久しぶりに一緒にお茶飲みをしました。

キヨコさんは休むことなく話し続け、マサヒロさんとの最後の出会いのことを教えてくれました。一月ほど前、場所は柿崎病院だったそうです。頭がすっぽり入るほど大きな帽子をかぶった男性がキヨコさんのすぐそばにやってきたのは待合室のことでした。椅子に座っていたキヨコさんは最初、誰だかわからなかったと言います。

マサヒロさんから「おれ、分からんか」と声をかけられたキヨコさんは、黒っぽい大きな顔を見てびっくり、「わからんこて、そんげなかつこしてりゃ」と言い返しました。でも、うれしかったようです、声をかけてもらって……。

二人とも昭和ひと桁生まれ、年が一つ違うだけで子どもの頃からの知り合いでした。マサヒロさんが尾神から直江津市街地の西本町に移転しても、尾神郵便局に長く勤めていたこともあって、二人が出会う機会は何度かあったようです。キヨコさんが最初に口に出したのは、マサヒロさんが身に着けていたものについてでした。

「あまいけの西（屋号）のマサヒロさん、あの通りの真っ黒い顔だろ、それなのに赤い蝶ネクタイつけてさあ。おれは似合わんと思っていたがだでも、本人は気に入っていたげらでしばらくつけていたこてー」

私もマサヒロさんの赤い蝶ネクタイ姿は見たことがあります。ベレー帽をかぶり、蝶ネクタイをしている姿は独特の雰囲気を出していて、恰好良かったですね。

マサヒロさんは郵便局を退職後もたびたび故郷にやってきました。その目的のひとつは懐かしい人に会うことでした。意外とさみしがり屋だったのかも知れません。

「山さわぎが好きだったろー、あの人、直江津からバイクに乗って来たこて。それに乗れなくなったら、今度はバスに乗って来たもんだこて。おらちに初めて来たときは『ばいげつや』でバス降りたすけ、こんだ、米山塗装のところ降りろそつたが……。あんどきもマントかなんか着てさ、おもしろえ格好して来たがど」

キヨコさんの話を聴いていると、マサヒロさんが初めてキヨコさんの家に来た時の様子がそのまんま目に浮かびます。

マサヒロさんの山好きは私も良く知っています。雪が解けると、ウドなどの山菜を採るために時どき尾神の山に入っていました。入る山は私とほとんど同じ。山で一緒になったことはありませんが、マサヒロさんの友人である酒屋（屋号）のタケシさんのところで何度も会いました。山菜採りが上手で、「こりや、誰かに先を越されたな」と思ったケースのうち何度かはマサヒロさんだったのだろう推測しています。

マサヒロさんは地域の人からは、親しみをこめて「あまいけの西のあんちゃ」と呼ばれていました。林英夫先生が私の小学校の担任だった頃からずっとです。七〇、八〇になっても「あんちゃ」と呼ばれていたのは私の知る限り、この人ぐらいです。子どもがいなかった分、生まれた故郷や地域の人たちに愛情を注いだ人でした。

さて、キヨコさんとマサヒロさんの最後の出会いの最後です。キヨコさんが言いました。「あの日、西のあんちゃと病院出る時も一緒になったがど。おれにさー、手、振ってサイナラしてくれたがよ。そんなさー、目に涙うかべてんがねかね。うれしかったこてー」そう言うキヨコさんも目がうるんでいました。

農議連が大島区菖蒲で楽しい収穫祭

市議会食糧農業農村議員連盟が作っている田んぼの収穫祭が27日、大島区菖蒲で行われました。

地元の生産組合代表の横尾さんの話では、今年の稲作は上々で、収

量、品質とも良かったということでした。横尾さん、農議連の武藤会長が挨拶した後、懇親会です。地元のお母さんたちが手作りしてくださった美味しい料理に舌鼓を打ちながら楽しいひと時を過ごしました。トコロ、柿の天ぷらなど珍しいものも出てきましたよ。

懇親会の後半にはここの自慢のそばも出てきました。私は厨房でお母さんたちが作っておられる様子も見学させていただきました。カメラを向けたら、「今度、（市政レポートに）載るんかいね」と言ってくださり、しばらくレポートの話になりました。それにしても、みなさんいい顔をして作っておられましたね。美味しいものは笑顔の中で作られる、そう思いました。

さて、今回の懇親会を盛り上げたのは佐藤副議長でした。佐藤副議長は落語家柳家小さんの弟子として落語をやってきた経験があります。また、踊りの師匠さんでもあ

ります。見事な小唄と踊りで会場は楽しさいっぱいになりました。「●●たものは朝までぬくんじゃないぞ」にはみんな何を想像したのか、大爆笑でした。

（写真下は小唄を披露する佐藤副議長と大笑いする人たち）



今年は柿が大豊作です。写真は上金原にて。

上越地域各消防署における空間放射線量測定結果（測定は毎日午前9時。数値はマイクロシーベルト。1時間当たりの測定量です。消防署によると、通常の範囲は1時間当たり0.016~0.16μSv（マイクロシーベルト）だということです。

	11月20日(水)	11月27日(水)
上越南消防署	0.040	0.036
上越北消防署	0.057	0.050
新井消防署	0.053	0.043
頸北消防署	0.043	0.046
頸南消防署	0.043	0.050
東頸消防署	0.043	0.047
高土分遣所	0.050	0.047
名立分遣所	0.047	0.047

「マサヒロさん、死んじゃったねえー」高見盛が負けたときに見せたような顔をしてそう言ったのは「でみせ」（屋号）のばーちゃん、キヨコさんです。先日、久しぶりに一緒にお茶飲みをしました。

キヨコさんは休むことなく話し続け、マサヒロさんとの最後の出会いのことを教えてくれました。一月ほど前、場所は柿崎病院だったそうです。頭がすっぽり入るほど大きな帽子をかぶった男性がキヨコさんのすぐそばにやってきたのは待合室のことでした。椅子に座っていたキヨコさんは最初、誰だかわからなかったと言います。

マサヒロさんから「おれ、分からんか」と声をかけられたキヨコさんは、黒っぽい大きな顔を見てびっくり、「わからんこて、そんげなかつこしてりゃ」と言い返しました。でも、うれしかったようです、声をかけてもらって……。

二人とも昭和ひと桁生まれ、年が一つ違うだけで子どもの頃からの知り合いでした。マサヒロさんが尾神から直江津市街地の西本町に移転しても、尾神郵便局に長く勤めていたこともあって、二人が出会う機会は何度かあったようです。キヨコさんが最初に口に出したのは、マサヒロさんが身に着けていたものについてでした。

「あまいけの西（屋号）のマサヒロさん、あの通りの真っ黒い顔だろ、それなのに赤い蝶ネクタイつけてさあ。おれは似合わんと思っていたがだでも、本人は気に入っていたげらでしばらくつけていたこてー」

私もマサヒロさんの赤い蝶ネクタイ姿は見たことがあります。ベレー帽をかぶり、蝶ネクタイをしている姿は独特の雰囲気を出していて、恰好良かったですね。マサヒロさんは郵便局を退職後もたびたび故郷にやってきました。その目的のひとつは懐かしい人に会うことでした。意外とさみしがり屋だったのかも知れません。

「山さわぎが好きだったろー、あの人、直江津からバイクに乗って来たこて。それに乗れなくなったら、今度はバスに乗って来たもんだこて。おらちに初めて来たときは『ばいげつや』でバス降りたすけ、こんだ、米山塗装のところ降りろそつたが……。あんどきもマントかなんか着てさ、おもしろえ格好して来たがど」

キヨコさんの話を聴いていると、マサヒロさんが初めてキヨコさんの家に来た時の様子がそのまんま目に浮かびます。

マサヒロさんの山好きは私も良く知っています。雪が解けると、ウドなどの山菜を採るために時どき尾神の山に入っていました。入る山は私とほとんど同じ。山で一緒になったことはありませんが、マサヒロさんの友人である酒屋（屋号）のタケシさんのところまで何度も会いました。山菜採りが上手で、「こりや、誰かに先を越されたな」と思ったケースのうち何度かはマサヒロさんだったのだろう推測しています。

マサヒロさんは地域の人からは、親しみをこめて「あまいけの西のあんちゃ」と呼ばれていました。林英夫先生が私の小学校の担任だった頃からずっとです。七〇、八〇になっても「あんちゃ」と呼ばれていたのは私の知る限り、この人ぐらいです。

子どもがいなかった分、生まれた故郷や地域の人たちに愛情を注いだ人でした。さて、キヨコさんとマサヒロさんの最後の出会いの最後です。キヨコさんが言いました。「あの日、西のあんちゃと病院出る時も一緒になったがど。おれにさー、手、振ってサイナラしてくれたがよ。そんなさー、目に涙うかべてんがねかね。うれしかったこてー」そう言うキヨコさんも目がうるんでいました。

「メールアドレスの変更が必要となるが、タイムラグ（時間的なズレ）が出ないか心配だ」などの要望と質問が出ていました。地元の番組については、「上越ケーブルテレビジョンのコミュニティ番組の中でとりいれてもらおうと思っている」とのことでした。また、いざという時の行政への連絡では消防団の無線などの活用をということでした。

全体としては、いま有線放送でやっている、区総合事務所からのお知らせ、集落の町内会長や農家組合などからのお知らせができなくなることへの不安が多く出されましたね。市側は、いまの放送法では残念ながらできないと答えていました。



写真は24日の旭会場の様子。

ケーブルテレビなどで地区別懇談会

吉川区総合事務所では23日、24日、26日と地区別懇談会を9会場で開きました。今回は市直営ケーブルテレビ施設の民間事業者への事業移行、防災行政無線戸別受信機設置、

それと今冬の除雪計画について説明し、意見交換することが目的でした。私は源、東田中、赤沢、竹直、旭の会場へ行ってきました。

市直営ケーブルテレビ施設の民間事業者への事業移行については、2015年（平成27）4月1日から上越ケーブルビジョン㈱に移行させたいとするもの。総合事務所の説明では、事業移行の時期は吉川区の場合、2016年にずれ込む場合があること、事業移行後、光ケーブルが整備され、多くのサービス利用が可能となること、事業の移行時と光ケーブルへの切り替えの初期費用は原則的に無償とすること、これまで区で制作していた番組は2016年度（平成26）末で終了することなどが明らかにされました。この事業の移行については市議会で議決されて初めて正式に決まります。

参加者との意見交換では、「慣れ親しんだ地元の番組がなくなると、お年寄りには残念がる。ささえやっしてほし

上越地域各消防署における空間放射線量測定結果（測定は毎日午前9時。数値はマイクロシーベルト。1時間当たりの測定量です。消防署によると、通常の範囲は1時間当たり0.016~0.16μSv（マイクロシーベルト）だということです。

	11月20日(水)	11月27日(水)
上越南消防署	0.040	0.036
上越北消防署	0.057	0.050
新井消防署	0.053	0.043
頸北消防署	0.043	0.046
頸南消防署	0.043	0.050
東頸消防署	0.043	0.047
高士分遣所	0.050	0.047
名立分遣所	0.047	0.047